

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00060 ）

事務事業名称		地域住民活動の支援				款	03	項	01	目	01	事業	007	整理番号	061	
現担当課名		地域課		係名		地域係		連絡先電話番号		3763		昨年度整理番号		061		
上位施策No・施策名											32 地域住民活動の支援と地域人材の育成		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		昭和63年度		実行計画事業		目標 05		施策 32		計画事業 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成30年度担当課名		地域課										事業評価区分		一般	
	対象		区民、町会・自治会、町会連合会、地区町会連合会、地域区民センター協議会				根拠法令等		(1)		杉並区まちの絆（きずな）向上事業助成金交付要綱					
									(2)		杉並区地域区民センター協議会事業に対する補助金交付要綱					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		町会・自治会活動の支援を通して、活動の活性化及び加入促進を図り、良好な地域社会の形成に取り組む。地域区民センター協議会事業の支援を通して、ふれあいと交流の創出や地域団体のネットワーク化を推進し、良好なコミュニティの形成に取り組む。				活動指標		指標名（ 1 ）		区政協力委託を締結した町会・自治会の割合					
								指標説明		地域区民センター協議会（7か所）の実施した事業数						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		町会・自治会の活動を支援するための各種助成等を行う。（地域活性化のために行う事業に対する助成、町会・自治会専用専用掲示板の設置等補助、町会・自治会の保有する会館の建設等助成、区屋外掲示板へのポスター掲出などの区政協力委託など）地域区民センター協議会の委員活動や事業を支援するための補助を行う。				成果指標		指標名（ 1 ）		町会・自治会加入率						
								指標説明		町会・自治会加入世帯÷区内世帯数						
								指標名（ 2 ）		事業一回当たりの参加者数						
								指標説明		地域区民センター協議会の実施した事業参加者総数÷事業実施回数						
区分		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度					
			実績		計画		計画 (目標値)		実績		計画		対計画比(%)			
指標	活動指標（ 1 ）		1	%	99.4	100.0	98.8	100.0	98.1	100.0	98.1					
	活動指標（ 2 ）		2	件	352	378	372	367	332	327	90.5					
	成果指標（ 1 ）		3	%	47.4	54	46.6	55	45.9	57	83.5					
	成果指標（ 2 ）		4	人	241	216	218	219	251	240	114.6					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	129,478	139,372	120,952	137,991	125,715	134,134	平成30年度 予算執行率(%)		91.1			
	（内）投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費		7	千円	48,727	49,899	48,828	49,868	49,204	49,672						
	職員数	常勤職員数		8	人	13.34	12.40	12.89	13.20	13.47	12.40					
		再任用職員数		9	人	0.00	0.40	0.43	0.00	0.00	0.40					
		非常勤職員数		10	人	5.60	5.60	5.60	6.60	7.00	6.60					
	人件費	常勤職員分		11	千円	114,217	106,169	110,738	113,401	113,498	104,482					
		再任用職員分		12	千円	0	1,756	1,904	0	0	1,774					
		非常勤職員分		13	千円	16,638	16,638	16,486	19,430	21,623	20,387					
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	260,333	263,935	250,080	270,822	260,836	260,777						
	単位当たりコスト (14÷6)÷1)		15	円	2,619,044	2,639,350	2,531,174	2,708,220	2,658,879	2,607,770						
	財源	受益者負担分		16	千円	1	1	0	0	0	0					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	2,501	2,501	2,500	2,500	2,500	2,500							
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	257,832	261,434	247,580	268,322	258,336	258,277							
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	061
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		町会・自治会専用掲示板設置等補助	123	基	6,746
		町会・自治会へのまちの絆向上事業助成	18	団体	3,896
		町会・自治会への区政協力委託	157	団体	44,603
		地域区民センター協議会への補助	7	団体	55,984
		その他(町会・自治会会館建設費補助及び区屋外掲示板維持管理費等)			14,486
(2) 事業実績	<p>町会・自治会専用掲示板の設置・修繕・移設等に対して123件の補助を実施するとともに、町会・自治会加入促進及び活動の活性化を目的とした「まちの絆向上事業」を実施する18団体への助成を行いました。また、ポスターの掲示による様々な情報提供や回覧板による周知などを目的として、157の町会・自治会に区政協力委託事業を実施しました。</p> <p>更に、地域区民センター協議会が実施する地域コミュニティの形成を図る事業や、地域課題の解決のために地域団体と協働で実施する事業を支援するため、協議会に対して補助を行いました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>町会・自治会専用掲示板設置等補助については、平成23年度に補助割合及び補助限度額の引上げを行い、平成25年度には掲示板の種類などにより補助限度額を変更しました。さらに、平成30年度も補助割合及び補助限度額の引上げを行い、より活用しやすい内容に変更しました。また、まちの絆向上事業助成については、平成23年度から募集の回数を年1回から3回に増やし、平成27年度からは4回としました。加えて、事業対象団体を拡大するため、平成30年度から対象を単一町会だけではなく、地区町会連合会の実施する事業も対象とすることとしました。</p> <p>地域区民センター協議会については、平成21年度から名称を地域集会所等運営協議会から改称するとともに、地域団体のネットワーク化を推進するため協働事業を開始しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>町会・自治会の活動内容がわかりにくく、気軽に参加できないという区民の方の意見があります。また、町会・自治会への助成事業に対し、「まちの絆向上事業助成」については地区町連の開催事業への対象拡大の要望や「町会・自治会専用掲示板設置等補助」については掲示板の老朽化を背景として補助額の増額を求める声が寄せられています。平成30年度に実施した「町会・自治会活動実務研修」は、参加者から好評を得ました。</p> <p>地域区民センター協議会については、協働事業を実施するにあたり、事業内容や協働相手の選定が難しいという意見があります。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>転入者の増加に伴い杉並区の人口は増加していますが、転入者が町会・自治会への加入につながっていない現状があります。その結果、町会・自治会の加入率の減少や町会・自治会活動の担い手である役員の高齢化や後継者不足が、引き続き予測されます。今後は、これまでの助成事業等による支援に加え、平成27年度から3年間実施した「町会・自治会加入促進、活動活性化実践講座」の成果をもとに、各町会・自治会がより実効性のある事業を展開するべく、「町会・自治会活動ハンドブック」の作成や杉並区町会連合会ホームページを開設し、町会・自治会の活性化を支援していきます。</p> <p>地域区民センター協議会の協働事業については、地域住民ニーズに応える新たな事業の実施が期待できます。</p>			
評価と課題	<p>町会・自治会の加入率の低下や役員の高齢化、後継者不足等様々な課題を解決するため、これまで事業助成など様々な活動支援を行ってきましたが、依然厳しい状況になっています。住民活動の活性化を図るためには、若い世代を含めた多様な世代が町会・自治会活動に参加できる仕組みづくりや、助成事業等の新規利用の拡大を図るとともに、これまで実施してきた「加入促進、活動活性化講座」等で得た知識や技術を町会・自治会が活用できるよう支援に取り組みます。</p> <p>地域区民センター協議会で実施している事業については、地域の課題解決や地域団体間のネットワーク化ができるように地域懇談会等を活用し、充実した内容になるよう取り組みます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成27年度より3年間実施した「町会・自治会加入促進、活動活性化実践講座」の実績を踏まえ、昨年度から検討を始めた「町会・自治会活動ハンドブック」を作成するとともに、杉並区町会連合会のホームページを開設し、転入者を含め多くの区民の方により広く町会・自治会活動を周知します。また、まちの絆向上事業助成については、昨年に引き続き、助成団体の対象を単一町会のみならず、地区町会連合会の実施する事業も対象とすることで、より多くの事業が実施できるように取り組みます。</p> <p>地域区民センター協議会の補助金について、年度当初に各協議会一律で交付していたものを、各協議会の事業計画に基づいた補助金額とし、補助金精算時の差額の縮小を図ります。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00062 ）

事務事業名称		NPO等の活動支援				款	03	項	01	目	01	事業	009	整理番号	063						
現担当課名		地域課		係名		協働推進係		連絡先電話番号		3312-2381		昨年度整理番号		063							
上位施策No・施策名											32 地域住民活動の支援と地域人材の育成		予算事業区分		既定事業						
事務事業の概要	事業開始		平成14年度		実行計画事業		目標 05		施策 32		計画事業 03		主要事業（区政経営報告書掲載事業）								
	平成30年度担当課名		地域課										事業評価区分		一般						
	対象		区民、NPO・ボランティア・事業者等地域活動団体				根拠法令等		(1)		杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例										
									(2)		杉並区NPO活動資金助成要綱										
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		NPOを含めた協働の担い手となる多様な主体（地域活動団体）が相互に連携・協力しながら地域の課題を解決する取組が広がり、参加と協働による地域社会づくりが進んでいる。				活動指標		指標名（1）		すぎなみ協働プラザ相談件数										
										指標説明		NPO支援基金普及イベント参加者数									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		協働提案制度について、行政及び地域活動団体等から協働事業を募集し実施する。NPO支援基金について、基金の普及啓発を図るとともに基金を活用したNPO活動資金助成によりNPO等の様々な地域貢献活動を支援する。すぎなみ協働プラザを中心に関係機関と連携し、地域活動団体への支援を充実させて、協働の輪を広げる。				成果指標		指標名（1）		すぎなみ協働プラザの地域活動団体への貢献度											
										指標説明		利用者アンケート「役に立った」の割合									
										指標名（2）		NPO支援基金への寄附件数									
										指標説明											
区分		単位		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度									
				実績		計画		計画 (目標値)		実績		計画		対計画比(%)							
指標	活動指標（1）		1 件		617		700		540		700		642		700		91.7				
	活動指標（2）		2 人		1,505		1,700		1,883		1,800		1,704		1,900		94.7				
	成果指標（1）		3 %		74.0		100		79.0		100		62.1		100		62.1				
	成果指標（2）		4 件		46		70		70		73		53		76		72.6				
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		36,197		38,669		35,970		37,978		34,235		47,485		平成30年度 予算執行率(%)		90.1		
	(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項				
	(内) 委託費		7 千円		20,355		22,170		21,960		22,606		22,123		32,436						
	職員数	常勤職員数		8 人		2.11		2.00		2.11		3.00		3.33		4.00					
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
		非常勤職員数		10 人		1.00		1.00		1.00		0.00		0.00		0.00					
	人件費	常勤職員分		11 千円		18,066		17,124		18,127		25,773		28,059		33,704					
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0					
		非常勤職員分		13 千円		2,971		2,971		2,944		0		0		0					
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		57,234		58,764		57,041		63,751		62,294		81,189						
	単位当たりコスト (14-6)÷1)		15 円		92,762		83,949		105,631		91,073		97,031		115,984						
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0					
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		57,234		58,764		57,041		63,751		62,294		81,189							
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	063
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみ協働プラザ運営業務委託	1	団体	19,981
		ボランティア活動支援事業補助	1	件	2,926
		NPO活動資金助成事業	7	団体	1,898
		地域活動応援サイト(地域コム)運営	1	件	904
		その他(すぎなみ協働プラザ維持管理・委員報酬・事務費ほか)			8,526
(2) 事業実績	<p>協働提案制度については、行政テーマ設定型の募集は行わず、継続1事業を実施しました。NPO支援基金には904,985円(延べ53件)の寄附を積み立てるとともに、NPO活動資金助成として7団体に合計1,897,149円の助成金を交付し、活動を支援しました。すぎなみ協働プラザでは、情報紙やメールマガジンの発行のほか、スキルアップ講座や活動テーマ別の交流会の開催など、様々な手法でNPO団体等の活動を支援しました。また、地域団体の情報サイトである地域コムには、月平均約21,000の訪問者数と約67,000のページビューがありました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成14年4月に「杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例」を施行し、「杉並区NPO支援基金」、「杉並区NPO等活動推進協議会」、中間支援組織として「NPO・ボランティア活動推進センター」を設置しました。その後、平成18年4月にNPO支援センターとボランティアセンターが分離し、NPO支援センターは平成27年4月から名称を「すぎなみ協働プラザ」に変更し運営しています。現在、杉並区総合計画・実行計画及び協働推進計画に基づき、協働提案制度の実施やNPO活動資金助成など、NPO等地域活動団体との協働に取り組んでいます。 区内NPO法人数 平成14年度末 103 平成30年度末 322</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>協働提案制度について、提案者であるNPO団体等から、制度の仕組みや予算の規模、行政の課題がわかりにくいとの意見があります。また、合わせて提案団体の負担軽減のため、事業報告会や事務手続き等の簡略化が求められています。 NPO支援基金については、寄附の使い道をもっと明確にして、寄附を集めるべきとの意見とともに、NPO活動資金助成については、助成対象期間が短いとの意見があります。 すぎなみ協働プラザについては、中間支援組織としての役割を果たしきれていないのではないかと、意見があります。地域コムについては、スマートフォン利用者から、画面が見づらい等の意見があります。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>区内NPO法人数は、これまで340団体前後で推移していましたが、団体の高齢化等により、今後は減少傾向に転じることが予想されます。そのため、個々のNPO法人に対しての質の向上に向けた継続的な支援策が求められます。NPO支援基金については、寄附額よりも助成額が上回っている状態が今後も引き続くことが予測され、寄附付き商品の開発など、寄附金確保のための対策が早急に求められます。すぎなみ協働プラザは、協働提案制度の見直しに伴い、これまで以上に中間支援組織としての役割が期待されます。様々な地域活動団体の協働と参加による地域社会づくりがより一層推進されるよう、区の側面からの引き続きの支援が求められます。</p>			
評価と課題	<p>協働提案制度については、区と提案団体との間での課題認識の相違などの理由により平成28年度以降は、提案の事業化に至っていません。そのため、募集方法等の見直しを行うことや、すぎなみ協働プラザの提案団体に対するサポート体制を強化するなど、協働提案制度の事業化に向けて取組を推進します。 NPO支援基金については、寄附額に比べ助成額が上回る傾向にあり、寄附の確保が課題となっています。今後は、普及啓発を徹底するとともに、より寄附金が集まる方法を検討します。また、すぎなみ地域コムについては、スマートフォンに対応したより見やすく使いやすいサイトにするために、ウェブサイトの再構築を行います。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>協働提案制度については、総合計画・実行計画・協働推進計画の改定に合わせて、制度の見直しを行います。 NPO支援基金については、NPO活動をより効果的に支援できるよう、その活用方法を検討するとともに寄附金確保の方法を検討します。 すぎなみ協働プラザについては、中間支援組織としての機能を十分に発揮できるよう側面から支援します。 地域情報応援サイト「すぎなみ地域コム」については、より多くの地域活動団体に利用されるよう、効果的に広報・周知を行います。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00063)

事務事業名称		地域人材の育成				款	03	項	01	目	01	事業	010	整理番号	064	
現担当課名		地域課		係名		地域人材育成係		連絡先電話番号		4016		昨年度整理番号		064		
上位施策No・施策名											32 地域住民活動の支援と地域人材の育成		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成18年度	実行計画事業 目標 05 施策 32 計画事業 04													
	平成30年度担当課名	地域課										事業評価区分		一般		
	対象	区内在住、在勤、在学者(地域活動に関心・意欲のある区民)				根拠法令等		(1) (2)		すぎなみ地域大学運営要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	多くの区民が様々な分野で地域活動に主体的に参加し、地域活動を支え、「協働の担い手」として活躍している。				活動指標		指標名(1)		実施講座数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	修了者の受け皿をつくる各主管課との事前協議を丁寧に行い、必要なボランティアの育成のために望ましいカリキュラムを構成する。 すぎなみ地域大学の講座内容について、区民の地域活動への関心度やレベルに心じて、無理なく、しかも楽しく学べるよう、工夫を凝らしていく。 修了生を地域活動につなげるため、講座に、体験学習や地域活動実践者との交流を組み入れていく。				指標説明		指標名(2)		受講者数						
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	講座	37	38	37	38	33	30	86.8						
	活動指標(2)	2	人	1,074	1,200	1,115	1,200	1,323	1,200	110.3						
	成果指標(1)	3	人	316	400	297	400	311	400	77.8						
	成果指標(2)	4	%	86.3	86	90.0	86	76.2	86	88.6						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	16,515	20,353	16,736	19,914	15,315	17,712	平成30年度予算執行率(%)		76.9				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	11,424	13,555	11,320	13,542	9,841	11,518							
	職員数	常勤職員数	8	人	2.50	3.00	3.44	3.00	3.33	3.00						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	2.06	1.00	1.00	1.00	1.04	1.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	21,405	25,686	29,553	25,773	28,059	25,278						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	6,120	2,971	2,944	2,944	3,213	3,089						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	44,040	49,010	49,233	48,631	46,587	46,079							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,190,270	1,289,737	1,330,622	1,279,763	1,411,727	1,535,967							
	財源	受益者負担分	16	千円	819	870	710	880	756	1,110						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	1,966	2,244	1,918	2,344	1,902	2,519						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2,785	3,114	2,628	3,224	2,658	3,629							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	41,255	45,896	46,605	45,407	43,929	42,450							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.9	1.8	1.4	1.8	1.6	2.4								

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	064
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみ地域大学の講座企画、受講者募集、講座運営	33	講座	15,315
(2) 事業実績	<p>平成30年度は、地域活動基礎コース5講座、実践コース20講座、ステップアップコース4講座のほか、オリパラ関連・交流自治体関連の講座や「すぎなみ大人塾」とも共催講座など4講座の計33講座を実施し、1,323人が受講しました。また、修了基準のある実践コースの修了生のうち、76.2%の方が修了後地域活動やボランティア活動に参加しています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>【杉並区区民意向調査による社会参加活動状況 「社会貢献・社会参加活動」の推移】 第37回(平成17年度) 6.3%、第38回(平成18年度) 4.3%、第39回(平成19年度) 5.2%、第40回(平成20年度) 5.9%、第41回(平成21年度) 4.3%、第42回(平成22年度) 5.2%、第43回(平成23年度) 4.9%、第44回(平成24年度) 4.8%、第45回(平成25年度) 5.3%、第46回(平成26年度) 6.8%、第47回(平成27年度) 4.8%、第48回(平成28年度) 6.5%、第49回(平成29年度) 6.3%、第50回(平成30年度) 5.5%</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>講座の募集開始とともに、講座内容や修了後の活動についての問い合わせが多数あり、区民等の地域活動への参加意欲の高まりが伺えます。 受講生へのアンケート調査では、地域活動のためのコミュニケーション講座や地域活動に必要な専門知識を習得するための講座の充実を望む声が多く寄せられています。 また、公開講座などで実施したアンケートでは、約5割の区民が「これまですぎなみ地域大学の存在を知らなかった」と回答しています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>すぎなみ地域大学の発足から13年が経ち、これまで様々な地域活動を実践するための講座を開講し、毎年多くの修了生が地域活動に取り組んでおり、引き続き地域大学に対する区民の期待は高いものと予測します。一方、近年、講座数及び講座受講者数の減少とともに、現在実施している講座の中には、既に役割を果たしたのではないかと考えられる講座も含まれており、地域大学修了生が地域大学で学んだ知識や技術を活かすことができない講座もあります。また、アンケートでは、地域大学の存在が、半数の区民には周知されていない結果となっています。そのため、今後は、すぎなみ地域大学の今日的な役割を見直し、講座内容を精査するとともに、地域大学の周知方法や運営方法について検討する必要があります。</p>			
評価と課題		<p>区民との協働への期待や、区民の積極的な地域活動への参加の欲求がますます高まっている中、地域活動やボランティア活動を実践する人材の育成は重要であり、講座終了後は地域活動等を実践する場を確保している地域大学の取組は、大きな成果をあげています。しかし、現在実施している講座の中には、地域活動を実践する場を確保できていない講座や既に役割を果たしたのではないかと考えられる講座も含まれており、地域大学修了生が地域大学で学んだ知識や技術を活かすことができない講座もあります。また、アンケートでは、地域大学の存在が、半数の区民には周知されていない結果となっています。そのため、今後は、すぎなみ地域大学の今日的な役割を見直し、講座内容を精査するとともに、地域大学の周知方法や運営方法について検討する必要があります。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
		<p>区民の社会参加意欲に応えるとともに、地域社会に貢献する人材や協働の担い手となる人材を育てるため、「すぎなみ地域大学」を運営します。運営にあたっては、協働の新たな展開に向け、修了生が地域大学で学んだ成果を地域で活かし実践できるよう、地域活動への参加をより積極的に進めていきます。さらに、今後地域活動を始めようとしている方々に、地域のことや地域で活動している方々の現状を知ってもらい地域活動への第一歩を踏み出すためのきっかけづくりをします。また、広報手段などを見直し、地域大学の存在や役割の一層の周知をはかり、より多くの方々の地域活動、ボランティア活動に踏み出すきっかけを提供します。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00064 ）

事務事業名称		公共施設予約システム等維持管理			款	03	項	01	目	01	事業	011	整理番号	065	
現担当課名		地域課		係名	地域施設係			連絡先電話番号	3765		昨年度整理番号	065			
上位施策No・施策名										32 地域住民活動の支援と地域人材の育成		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成15年度													
	平成30年度担当課名	地域課										事業評価区分	一般		
	対象	施設利用者及び利用団体			根拠法令等	(1)		杉並区公共施設予約システムの利用に関する規則							
						(2)									
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	公共施設の利用申込を簡単・便利に行えるようにする ○ 公共施設の利用機会を平等に提供する。 災害被害認定調査に基づき、迅速に災証明書を発行する。			活動指標	指標名（ 1 ）		公共施設予約システムアクセス数							
					指標説明										
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	公共施設予約システムの構築及び運用業務を行う ○ 被災住家等の被害認定調査の実施及び災証明書の発行業務を行う。			成果指標	指標名（ 1 ）		公共施設予約システム利用登録者数								
					指標説明										
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（ 1 ）	1 回	2,245,087	2,300,000	2,330,497	2,300,000	2,278,866	2,300,000	99.1						
	活動指標（ 2 ）	2													
	成果指標（ 1 ）	3 件	14,793	16,000	14,342	16,000	13,855	16,000	86.6						
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	64,514	69,868	62,849	63,575	57,837	91,874	平成30年度 予算執行率（%）	91.0					
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7 千円	40,943	43,848	40,283	38,499	35,081	60,798	令和元年度の事業費が増えているのは、公共施設予約システムのサーバ等機器を交換するためです。						
	職員数	常勤職員数	8 人	2.55	2.30	2.51	2.65	2.77	3.03						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.05	0.05	0.00	0.00	0.05						
		非常勤職員数	10 人	1.30	1.30	1.30	1.00	1.05	1.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	21,833	19,693	21,563	22,766	23,340	25,531						
		再任用職員分	12 千円	0	220	221	0	0	222						
		非常勤職員分	13 千円	3,862	3,862	3,827	2,944	3,243	3,089						
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	90,209	93,643	88,460	89,285	84,420	120,716							
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	40	41	38	39	37	52							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	90,209	93,643	88,460	89,285	84,420	120,716							
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

			整理番号	065	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		公共施設予約システム運用業務委託			
		端末回線料、機器リース料の支出			24,014
		被災者情報管理（機器リース料の支出、保守業務委託）			1,570
		その他（システム維持管理消耗品の購入等）			4,941
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成30年度は利用者の支障となるシステムの障害や停止はありませんでした。より安定した運用が可能となるよう公共施設予約システムの改修を計画的に進めました。インターネット通信のセキュリティを一層強化するため、全てのページにおいて常時暗号化通信（SSL通信）対応を行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>公共施設予約システムは、平成15年から集会施設、平成17年からスポーツ施設の運用を開始しました。また、平成26年10月にシステムの更新を行いました。被災者情報システムは、平成18年度から運用を開始しました。平成26年度にライセンス追加を実施し、当該事務の更なる迅速化に努めました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>公共施設予約システムの操作方法に関する問い合わせ等があります。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>地域コミュニティ施設の開設に向けて、公共施設予約システムの改修が必要になります。また、公共施設予約システムの更新時期等を検討していることが必要です。</p>			
評価と課題		<p>公共施設予約システムを平成26年度に更新してから4年が経過し、操作方法に関する問い合わせは少なくなっています。今後も安定的なシステム運用に努めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>公共施設予約システムについて、利用者等の意見を踏まえながら、必要な改修を行います。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00074)

事務事業名称 地域集会施設等維持管理				款 03	項 01	目 03	事業 004	整理番号 080			
現担当課名 地域課		係名 地域施設係		連絡先電話番号 3765		昨年度整理番号 080					
上位施策No・施策名 32 地域住民活動の支援と地域人材の育成							予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和54年度	実行計画事業 目標 05 施策 32 計画事業 02			主要事業(区政経営報告書掲載事業)					
	平成30年度担当課名	地域課					事業評価区分 一般				
	対象	施設利用者及び利用団体		根拠法令等	(1)	地方自治法第225条、第244条、第244条の2					
					(2)	杉並区立地域区民センター及び集会所条例、同条例施行規則					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	地域住民の活動拠点である地域区民センター、区民集会所、区民会館及び区民事務所会議室において、区民相互の交流や自主的な活動が行われるよう適切な施設の維持管理、運営を行う。		活動指標	指標名(1)	有料利用者数					
				指標説明	施設利用回数						
				指標名(2)							
				指標説明							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	地域区民センター、区民集会所、区民会館及び区民事務所会議室を良好な状態で利用者に供するための維持管理業務を行う。 区民や区民団体等を対象に、各施設内にある集会室、和室及びホール等の貸出業務を行う。		成果指標	指標名(1)	施設利用率						
				指標説明	利用回数÷利用可能回数						
				指標名(2)							
				指標説明							
区分	単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				計画	対計画比(%)
指標	活動指標(1)	1	人	1,340,704	1,300,000	1,246,363	1,300,000	1,250,278	1,250,000	96.2	
	活動指標(2)	2	回	191,571	0	192,706	0	189,660	0	0.0	
	成果指標(1)	3	%	53.3	56	52.6	56	50.4	56	90.0	
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	925,456	1,015,862	951,660	1,041,168	1,008,249	1,061,230	平成30年度 予算執行率(%) 96.8	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 令和元年度の活動指標(有料利用者数)は、令和元年6月から西荻地域区民センターが休館するため計画数値を減としました。	
	(内)委託費	7	千円	726,894	760,335	736,792	816,797	801,689	857,406		
	職員数	常勤職員数	8	人	16.75	14.80	15.65	16.07	16.68		16.41
		再任用職員数	9	人	0.00	0.55	0.58	0.00	0.00		0.55
		非常勤職員数	10	人	9.10	9.10	9.10	8.40	8.95		8.40
	人件費	常勤職員分	11	千円	143,414	126,718	134,449	138,057	140,546		138,271
		再任用職員分	12	千円	0	2,415	2,568	0	0		2,439
		非常勤職員分	13	千円	27,036	27,036	26,790	24,730	27,647		25,948
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	1,095,906	1,172,031	1,115,467	1,203,955	1,176,442	1,227,888		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	817	902	895	926	941	982		
	財源	受益者負担分	16	千円	164,095	166,082	166,741	178,422	168,769		167,915
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	164,095	166,082	166,741	178,422	168,769	167,915		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	931,811	1,005,949	948,726	1,025,533	1,007,673	1,059,973		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	15.0	14.2	14.9	14.8	14.3	13.7			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	080	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		地域区民センター施設維持運営業務委託	7	館	347,504	
		区民集会所施設維持運営業務委託	12	所	203,088	
		区民会館施設維持管理業務委託	3	館	73,819	
		光熱水費の支出	34	所	99,299	
		その他（施設修繕・消耗品購入 ほか）			284,539	
	(2) 事業実績	平成30年4月に新たに開所した天沼区民集会所をはじめとする地域区民センター、区民集会所及び区民会館等の維持管理を行いました。 また、隣接する杉並清掃工場の改築終了に伴い、高井戸地域区民センター広場等の整備を行いました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	地域区民センター及び区民集会所については、平成14・15年度に運営協議会による運営から民間事業者への業務委託に変更しました。なお、高井戸地域区民センターは平成24年5月から、下高井戸区民集会所は平成29年4月から、指定管理者による運営を行っています。 区民会館については、平成26年度に区の直営から民間事業者への業務委託に変更しました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	例年、窓口の接客向上や備品類の購入等について要望があります。 住宅地に立地している施設については、利用者の騒音に対して、近隣住民から苦情が寄せられています。特に、無人施設である区民事務所会議室に関する苦情が多くなっています。 行政による優先予約に対し、他利用者への配慮をしてほしい旨の意見が寄せられています。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	区立施設再編整備計画等に基づき、地域集会施設の再編整備を行っていく予定です。令和元・2年度には西荻地域区民センターの大規模改修を、令和3年度には高円寺地域区民センターの大規模改修及び阿佐谷地域区民センターの移転整備を行います。				
	評価と課題	地域集会施設の中には、老朽化に伴い、更新時期を迎えているものが多くあることから、区立施設再編整備計画等に基づき、計画的に改修や再編整備等を行っていきます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	西荻地域区民センターは令和元・2年度の大規模改修後に施設維持管理を再開します。				

令和元年度杉並区事務事業評価表（1）

（00739）

事務事業名称		阿佐谷地域区民センターの移転整備				款	03	項	01	目	04	事業	002	整理番号	082						
現担当課名		地域課		係名		地域施設係		連絡先電話番号		3768		昨年度整理番号		084							
上位施策No・施策名											32 地域住民活動の支援と地域人材の育成		予算事業区分		投資事業						
事務事業の概要	事業開始		平成27年度		実行計画事業		目標 05		施策 32		計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）								
	平成30年度担当課名		地域課										事業評価区分		一般						
	対象		施設利用者及び利用団体等				根拠法令等		(1)		地方自治法第225条、第244条、第244条の2										
									(2)		杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例、同条例施行規則										
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		阿佐谷地域区民センターの移転整備を行う。阿佐谷地域区民センターと阿佐谷児童館を複合化し整備することで、多世代の交流を図るとともに、立体都市公園制度を活用することで、新たなみどりを創出し、みどりと一体化した施設とする。				活動指標		指標名（1）		移転改築工事の進捗状況										
								指標説明		工事竣工時を100%とした場合の出来高の割合											
								指標名（2）													
								指標説明													
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		阿佐谷地域区民センターについて、旧阿佐谷けやき公園プールの敷地を活用し移転・改築を行い、阿佐谷児童館との複合化を図るとともに、屋上に公園を整備する。				成果指標		指標名（1）													
								指標説明													
								指標名（2）													
								指標説明													
区分		単位		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度									
				実績		計画		実績		計画（目標値）		実績		対計画比(%)							
指標	活動指標（1）		1 %		0		0		0		0		10		0.0						
	活動指標（2）		2																		
	成果指標（1）		3																		
	成果指標（2）		4																		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		0		8,739		7,346		65,384		60,949		88,690		平成30年度 予算執行率(%)		93.2		
	(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0				特記事項		
	(内) 委託費		7 千円		0		7,457		6,118		64,420		59,986		87,960						
	職員数	常勤職員数		8 人		0.00		0.20		0.23		0.48		0.26		0.72					
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
	人件費	常勤職員分		11 千円		0		1,712		1,976		4,124		2,191		6,067					
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0					
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0					
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		0		10,451		9,322		69,508		63,140		94,757						
	単位当たりコスト (14-6)÷1)		15 円		0		0		0		0		0		9,475,700						
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0					
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		0		10,451		9,322		69,508		63,140		94,757							
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	082
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	事業費（千円）
		基本設計			12,746
		実施設計			19,500
		旧阿佐谷けやき公園プール解体工事			27,600
		その他（機械警備委託ほか）			1,103
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	設備等の老朽化が課題となっている阿佐谷地域区民センターの移転整備に向けて、意見交換会や住民説明会を開催し、地域住民や利用者等の意見を聞きながら、複合施設の設計や移転予定地にある旧阿佐谷けやき公園プールの解体工事を行いました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	近隣病院の移転・建替え計画を受けて、平成29年度に新たに杉並第一小学校等施設整備等方針を策定しました。 平成30年度は、設計を進めるとともに、旧阿佐谷けやき公園プールの解体工事を行いました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	解体工事に対しては、騒音や振動、車両進入経路の安全確保の要望等がありました。 また、設計に対しては、ロビーの広さや体育室の天井高の確保、公園のみどり存置の要望等があります。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	令和3年度の複合施設開設に向けて、令和元年度に建築工事に着手します。			
評価と課題		関係課間で連携を図りながら複合施設の設計を行いました。今後も、地域住民や利用者等の意見を十分に聞くとともに、関係課間で必要な連携を図りながら、複合施設の設計・工事・開設準備を進めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容		建築工事や施設管理者の選定等に必要予算を計上していきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 083			
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		実施設計			
		その他()			
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	永福体育館移転後の跡地に、永福図書館、地域コミュニティ施設及び保育施設の複合施設として整備する。(仮称)永福三丁目複合施設について、住民説明会を開催するなど、地域住民や利用者等の意見を聞きながら、実施設計を行いました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成29年度に、「区立施設再編整備計画(第一期)・第一次実施プラン(平成29・30年度)」に基づき、旧永福体育館の跡地を活用した(仮称)永福三丁目複合施設の整備に向けた取り組みに着手しました。 平成30年度は、29年度から進めていた実施設計を完了しました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	近隣住民から施設運営に伴う騒音や利用者の視線、利用者動線への配慮を求める要望があります。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	令和3年度の複合施設開設に向けて、令和元年度に建設工事に着手します。			
評価と課題		(仮称)永福三丁目複合施設の地域コミュニティ施設は、新築の複合施設に整備する最初の事例であることから、複合施設の特徴を生かして、永福図書館と地域コミュニティ施設が一体的に利用でき、学びや地域活動を通じて交流が生み出されるよう、施設の運用や管理方法について、引き続き関係課間で検討を進めます。 また、永福図書館内に設ける乳幼児室の運用や、複合施設のスペースを活用して実施する中・高校生新たな居場所づくり事業について事業所管課との調整を行います。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	当該事務事業は、令和元年度予算より「地域コミュニティ施設の整備」に移管されます。「地域コミュニティ施設の整備」に、令和3年度の複合施設開設に向けて、建設工事費(0.5式)及び初度調弁に係る経費等を計上していきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00761 ）

事務事業名称		西荻地域区民センターの改修				款	03	項	01	目	04	事業	004	整理番号	084	
現担当課名		地域課		係名		地域施設係		連絡先電話番号		3769		昨年度整理番号				
上位施策No・施策名											32 地域住民活動の支援と地域人材の育成		予算事業区分		投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成28年度	実行計画事業		目標	05	施策	32	計画事業		02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成30年度担当課名	地域課										事業評価区分		一般		
	対象	施設利用者及び利用団体等				根拠法令等		(1)		地方自治法第225条、第244条、第244条の2						
							(2)		杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例、同条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	施設の老朽化が見られる西荻地域区民センターについて、改修を行う。また、保育需要に対応するため、施設内に保育所を整備する。				活動指標		指標名（ 1 ）		改修工事の進捗状況						
								指標説明		工事竣工時を100%とした場合の出来高の割合						
								指標名（ 2 ）								
								指標説明								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		大規模改修により必要な保全を行うとともに、より使いやすい施設とするためにレイアウトの変更を行う。				成果指標		指標名（ 1 ）								
								指標説明								
								指標名（ 2 ）								
								指標説明								
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（ 1 ）	1	0	0	0	0	0	50	0.0							
	活動指標（ 2 ）	2														
	成果指標（ 1 ）	3														
	成果指標（ 2 ）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	0	0	0	36,639	25,920	366,537	平成30年度予算執行率(%) 70.7						
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7	千円	0	0	0	36,639	25,920	365,932	執行残は実績による残です。						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.36						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	0	0	0	1,685	3,033						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	0	0	36,639	27,605	369,570						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	0	0	0	0	0	7,391,400						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	0	0	0	36,639	27,605	369,570							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	084	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		改修設計				25,920
	その他（ ）					
(2) 事業実績	設備等の老朽化が課題となっている西荻地域区民センターの改修に向けて、住民説明会を開催するなど、地域住民や利用者等の意見を聞きながら、改修設計を行いました。					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成30年3月に大規模改修基本計画を策定し、改修設計を行いました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	施設の利用者から、エレベーターの混雑や特定の利用者によるロビーの占有等について意見が寄せられています。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	改修工事後の令和2年11月から施設を再開する予定です。				
	評価と課題	令和元年度からの改修工事にあたっては、安全を確保するとともに、利用者への代替活動場所の案内などを丁寧に行っていきます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	改修工事の2年目工事費、主管課工事費、初度調弁費用等を計上していきます。				